

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	札幌市立北光小学校 第5学年 50名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間、道徳、体育） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラリンピックの競技選手との交流を通して、パラリンピックの歴史や意義、その精神に触れるとともに、自分たちの夢や希望、そこに向けて努力することの大切さについて学ぶ。
5 取組内容	<p>○指導計画【3時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの歴史や意義について ・パラリンピアンとの交流と競技の体験 ・活動を通して学んだことや今後の目標についてのまとめ <p>○取組の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し緊張感をもちながら根木さんと出会った。根木さんの子どもを引き付ける話を通して、初めての車いすバスケットに興味をもった。 ・競技用の車いすに乗って動かし、思うように動かないこととその機能の多さに驚いた。



	<ul style="list-style-type: none"> • 代表者による車いすバスケットボールの試合体験を行った。車いすとボールと仲間と相手に意識を向けながら取り組んだ。難しいこと、初めてのことにチャレンジするときどきやわくわくする気持ちの中、応援の子ども達も根木さんから教わった「真剣に応援すること」を実行していた。 • 子どもは、参加して、根木さんへの尊敬の意だけではなく、このスポーツをはじめ多くのパラリンピック競技への興味や理解、そして誰もが参加できることに対しても意欲を高めた。 • 最後は“ネギー”と一緒に声を出し、気持ちのよい表情で活動を終えた。 	 <p>The top photo shows a wheelchair basketball game in progress on a gymnasium floor. The middle photo shows a group of children sitting on the floor, some in wheelchairs, listening to an instructor. The bottom photo shows a large group of children posing for a group photo on the gymnasium floor, with a banner in the background that reads 'Hiroshima University School'.</p>
6 主な成果	<p>新しいことに対して抵抗感をもつ子どもも、根木さんと共に活動した時間の中で、チャレンジしてみることへの楽しさや大切さを実感し、学ぶことができた。</p>	
7 実践において工夫した点	<p>先入感をもつことなく素直な気持ちをもってこの学習に取り組めるようにした。調べるのではなく、知る・実際に見る・一緒に体験する・感じることに重点を置いた。</p>	
8 主な課題等	<p>参加学年だけのもとなってしまうため、取組内容や子どもの様子をもっと全校に広げられるようにすべきであった。</p>	
9 今後の取組について	<p>課題にも挙げたように、取組や成果が全校に広がるようにしていきたい。オリンピック・パラリンピックイヤーとなる年を迎え、取組の継続と強化を図るためにも平成 30 年度内から次につながる計画と実施を進める。</p>	